

総務教育常任委員会資料

(平成26年2月19日)

〔件名〕

- ・鳥取県・岡山県共同アンテナショップに係る基本計画策定業務の委託について 【東京本部】・・・1
- ・神戸学院大学との就職支援に関する連携協定の締結について 【関西本部】・・・2
- ・「オレイン和牛の饗宴2014」の開催について 【関西本部】・・・3
- ・名古屋市内レストランでの鳥取県フェアの開催について 【名古屋代表部】・・・4
- ・「西部地域の宝」発表会の開催概要について 【西部総合事務所】・・・5

総 務 部

鳥取県・岡山県共同アンテナショップに係る基本計画策定業務の委託について

平成26年2月19日
東京本部
市場開拓課

鳥取県と岡山県が共同で設置するアンテナショップについて、アンテナショップ機能が効率的・効果的に発揮できるようにレイアウト素案等を作成する業務を下記のとおり委託することに決定したので報告します。

- 1 業務名
鳥取県・岡山県共同アンテナショップ基本計画策定業務
- 2 事業者の選定方法
平成26年1月16日に調達公告⇒2事業者より応募⇒同年2月10日審査会
⇒同月17日契約（事業者及び岡山県と三者契約）
- 3 委託業者
岡山県岡山市北区本町6番30号
株式会社天満屋アドセンター事業部
事業部代表 妹尾 年倫
- 4 委託期間
平成26年2月17日～3月31日
- 5 契約金額
金4,357,500円（うち消費税及び地方消費税の額 金207,500円）
<うち鳥取県負担額>
金2,178,750円（うち消費税及び地方消費税の額 金103,750円）
- 6 業務内容
 - (1) ショップを効果的、戦略的に運営するための運営コンセプト等の作成
 - (2) 建物の外観装飾、内装、スタッフ制服等の具体的な統一デザイン素案の作成
 - (3) 物販店舗、飲食店舗、観光移住コーナー、催事スペース、ビジネスセンターが最も効果的に運営され、十分な機能を発揮できるよう配置するためのレイアウト素案の作成
 - (4) 各施設に必要な機能を整備するために行うべき、内装改修や設備設置に係る工事実施計画素案の作成
 - (5) 運営事業者に委託する物販店舗及び軽飲食店舗、催事スペース、ビジネスセンターの運営に係るシミュレーション（経営収支見直し）の作成
- 7 今後のスケジュール
 - 3月7日 レイアウト素案及び物販・飲食店舗経営見直し報告書の提出
 - 3月中旬 物販・飲食店舗運営事業者の募集
 - 3月31日 運営コンセプト等報告書及び統一デザイン素案基準・仕様書等の提出
 - 4月中旬 物販・飲食店舗運営事業者の決定
 - 4月下旬 改修工事等の実施設計・施工の委託
 - 秋頃 アンテナショップオープン

神戸学院大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成26年2月19日
関西本部
雇用人材総室就業支援室

関西における県出身学生等のIJUターン就職を推し進めるため、このたび神戸学院大学（神戸市中央区）との就職支援協定を締結、調印式を以下のとおり実施する。

県外の大学との就職支援協定は、龍谷大学（京都市）との包括連携協定（平成22年7月）の締結に次ぐ2例目。引き続き関西圏の大学のさらなる連携・協力を得て、鳥取ゆかりのネットワーク等の活用も図りながら、地域経済を支える人材の育成及び確保の強化に努めるものとする。

1 就職支援協定の目的・狙い

- ・同大学は関西圏で、龍谷大学に次ぐ県出身在籍者数（138名（H25.4 現在））を誇り、法・経済・経営・人文の文系学部ほか、総合リハビリテーション・栄養・薬学といった県内大学には無い学部を有し、また従来から県出身学生のUターン就職率も高い。特に県内からの高い求人ニーズのある福祉・医療系に対応した学生の育成、輩出が可能である。
- ・神戸市内にポートアイランドのほか2キャンパスを有し、またポートアイランド内にキャンパスを置く他3大学との連携事業も進めており、神戸エリアでの他大学への波及も大いに期待できる。
- ・県外に進学する高校生のおよそ半数（800名程度）は関西圏の大学等に進学しており、龍谷大学との包括連携協定に基づく「関西圏人材確保モデル事業」の成果、また関西圏への大学の協力を得て実施したUターン就職率の調査等を踏まえ、大学との連携協定に基づく就職支援事業は県内への人材確保において有効と認められる。

2 協定内容及び取組み

協定は県、大学と新たに、公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構を含めた3者で締結し、より学生へ直接かつ密接的な情報発信や支援体制で取り組む。

- (1) 学生に対する県内の企業情報、各種就職イベント等の周知に関すること。
 - ・県出身学生へのメール配信等による直接的な情報発信、情報提供
- (2) 学内で行う就職相談会、企業説明会等の開催に関すること。
 - ・学内就職相談会、企業ガイダンスの実施
- (3) 学生の保護者に対するIJUターン就職に係る情報提供に関すること。
 - ・地元開催の保護者会への県、定住機構職員の参加による情報提供
- (4) 学生の就職に係る情報交換及び実績把握に関すること。
 - ・県内出身学生（入学、就職時）の数値情報、傾向等の提供
- (5) その他学生のIJUターン就職促進に関すること。
 - ・企業と大学の担当者との情報交換会への開催

3 日程等

- (1) 日 時 2月22日（土）午前10時15分～正午
- (2) 場 所 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス A号館（神戸市中央区港島）
- (3) 出席者 岡田 豊基 神戸学院大学学長
平井 伸治 鳥取県知事
池上 勝治（公財）ふるさと鳥取県定住機構理事長、県出身学生ほか 計40名予定
- (4) 内 容
 - ア 調印式（10：15～10：45）
協定書の調印・署名セレモニー、代表者挨拶、記念撮影 等
 - イ 交流会（10：50～12：00）
軽食を取りながらの交流・歓談 等

<参考>神戸学院大学概要

- ・同大学は1912（明治45）年の裁縫女学校創立から約100年の歴史があり、神戸学院大学としては2016（平成28）年には創立50周年を迎える。
- ・これまでに香川県、愛媛県、高知県との就職支援協定を締結しており、鳥取県が地方県としては4例目。引き続き進学者数も多い中四国各県との連携強化を図ることとされている。

「オレイン和牛の饗宴2014」の開催について

平成26年2月19日
畜産課
関西本部

平成24年9月に、牛肉のオレイン酸含有率に着目してブランド化した和牛肉を生産している先進3県（鳥取県・大分県・長野県）による合同PRイベント「オレイン和牛の饗宴」を東京都で開催しました。今年度は新たに石川県を加え、4県が協力して関西の食を牽引する有名飲食店、マスコミ等を招待し、オレイン和牛肉を紹介するイベントを大阪府で開催しました。

1 イベントの概要

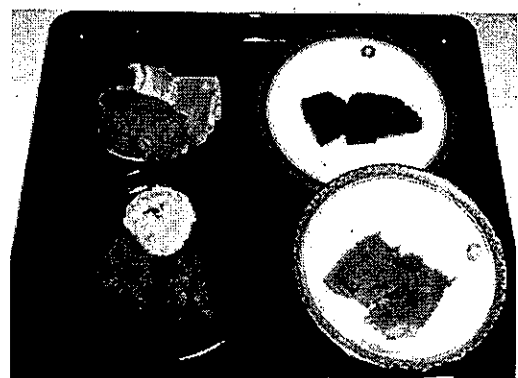
- (1) 日時 平成26年2月9日（日）午後2時から4時まで
- (2) 場所 大阪府大阪府中央区城見1-4-1 ホテルニューオータニ大阪
- (3) 主催 鳥取県、大分県、長野県、能登牛銘柄推進協議会（石川県）、鳥取県牛肉販売協議会、JA全農大分県本部、JA全農長野県本部
- (4) 招待者 飲食店等関係者24名、マスコミ関係者9名
- (5) 内容
 - ア 4県オレイン和牛の紹介
 - イ 4県の和牛生産者の紹介と一言コメント
 - ウ 渡辺陸行准教授（昭和女子大学）によるオレイン酸の説明
 - エ オレイン和牛のレシピ紹介、実食
レシピは、関西で多くの読者に支持されている食の情報誌「あまから手帖」の編集顧問 門上武司氏のプロデュース
 - オ 3県知事等（鳥取県知事・大分県知事・長野県副知事）のトークセッション

2 結果

- ・脂肪の質にこだわり、オレイン酸含有率に着目しブランド化した「オレイン和牛」は和牛界をリードする存在であることが伝えられた。
- ・4県の和牛生産者がPRすることにより、生産現場のオレイン和牛に対する思いや考え（安全・安心・美味しさへのこだわり）を招待客に直接伝えることができた。
- ・オレイン酸の健康面での効能が説明され、「オレイン和牛」の脂肪は良質な脂肪であることが伝わった。
- ・オレイン和牛の特徴を生かしたローストビーフ、しゃぶしゃぶなど4種類のレシピで調理することにより、「オレイン和牛」の最大の魅力である脂の口溶けと風味を体感してもらうことができた。（「鳥取和牛オレイン55」はフィレ肉のカツレツとして提供した）
- ・オレイン和牛をブランド化した先進3県と、石川県のようにこれからブランド化を進める県が連携をとり、今後も新しい和牛肉「オレイン和牛」の普及活動について協力していくことが確認された。



（左から）黒坂事務局長（石川県）、広瀬大分県知事、平井鳥取県知事、門上武司氏、和田長野県副知事



（提供料理）

- 鳥取県：フィレ肉のカツレツ（左下）
- 大分県：フィレ肉鉄板焼き（右上）
- 長野県：ロース肉ローストビーフ（右下）
- 石川県：ロース肉しゃぶしゃぶ（左上）

名古屋市内レストランでの鳥取県フェアの開催について

平成26年2月19日
名古屋代表部

中京圏での鳥取県産品の販路開拓及び「食のみやこ鳥取県」PRのため、レストラン等で鳥取県フェアを開催しています。

1 「自然の薬箱」(カフェ&キッチン)での鳥取県フェア開催

健康や食材に関心ある方をターゲットに、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会認定レストラン「自然の薬箱」で、鳥取県産食材にこだわったメニューを提供しています。

また、レストラン内に鳥取県紹介パンフ、ポスター、のぼりなども配置し、鳥取県の魅力を併せてPRしています。

- (1) 日程 : 平成26年2月16日(日)～3月15日(土)
(2) 会場 : 「自然の薬箱」(カフェ&キッチン) (名古屋市千種区)

自然の薬箱: 「自然の力でからだの中から美しく」をテーマに、「漢方相談薬局」、「カフェ&キッチン(レストラン)」、「ボディワークスタジオ(ヨガ教室など)」、「ボディケアルーム(アロマセラピー)」などを同一ビルで展開。

- (3) メニュー: 鳥取県産食材を使ったフレンチディナーコースを提供

地鶏ピヨと原木椎茸の軽いくん製
焼きモサエビと紅ズワイガニのカダイフ巻き サラダ仕立て
赤ガレイのムニエル 白ネギと魚介のソース
瑞穂生姜のグラニテ(シャーベット)
熟成大山豚肩ロースのポワレ 柳まつたけ添え
ねばりっこのアイスクリームと甘酒のパウンドケーキ 他

- (4) 産地視察

事前にシェフが鳥取県内の産地を視察し、食材の特徴などを確認した上で、素材の良さを味わえるメニューを考案。

- (5) 参考(日本野菜ソムリエ協会との連携)

鳥取県は平成22年、一般社団法人日本野菜ソムリエ協会(野菜等の知識を高め、魅力を発信する活動を実施)の自治体パートナーとなり、連携して鳥取県産食材や生産者の魅力を発信しています。今回の鳥取県フェアも同協会との連携による取り組みです。



鳥取県フェアチラシ

2 名古屋国際ホテル「日本の味めぐり 山陰」開催

- (1) 日程 : 平成26年2月1日(土)～2月28日(金)
(2) 会場 : 名古屋国際ホテル内レストラン(名古屋市中区)
(3) 概要 : ホテル内レストラン3店舗で県産食材を使ったメニューを提供

店舗	メニュー
「銀座」(割烹)	ねばりっこの揚げ出し、のど黒一夜干し 他
「キャンドル」(レストラン)	「山陰彩りコース」など山陰にちなんだコース料理
「天守閣」 (ステーキハウス・バー)	鳥取和牛タンシチュー 他

- (4) 参考 : 名古屋国際ホテルでは、平成25年2月にも「鳥取県フェア」を開催しています。

「西部地域の宝」発表会の開催概要について

平成26年2月19日

西部総合事務所地域振興局

西部の中山間地域で活動する地域づくり団体の取組みを多くの県民に知ってもらうとともに、団体同士が互いの取組みを理解し、連携の可能性を探ることを目的として、「総合事務所等地域課題解決事業」を活用して「西部地域の宝」発表会を開催した。

- 1 開催日 平成26年2月8日(土)
- 2 開催場所 米子コンベンションセンター内
- 3 参加団体及び活動発表内容(全6団体)

参加団体	活動発表内容
山陰sacca(大山町)	地元で活躍するクリエイター、ものづくり作家達の作品展示、活動PR
大山小麦プロジェクト(大山町他)	県内産小麦を使用した小麦粉、パン、めん類の製品PR
あいみ富有の里地域振興協議会(南部町)	南部町産農産物で作ったジャムの試食PR、販売 手づくりみそ、あたご梨の販売、青空市のPR
南さいはく地域振興協議会(南部町)	南部町産農産物を使った加工品(うどんようかん、おこわ、手づくりこんにやくなど)の試食PR、販売、アンケート実施
法勝寺地区地域振興協議会(南部町)	南部町産農林産物(しいたけなど)の販売、加工品(クッキー)の販売
株式会社緑水園(南部町)	南部町で捕獲されたいのししの肉を使った肉まん、竹するめ、米せんべいの試食PR、販売

4 開催経費 389,250円(県直接実施)

5 来場者数 約900人

6 開催結果

- 鳥取力創造まつりと同時開催したことで、中山間地域の取組みをより多くの県民に知ってもらう機会となった。
- 各団体においては、当日準備した農産物、加工品がほぼ完売。屋台の前では、団体同士や来場者の交流が積極的に行われ、今後取組みを続けていく上での刺激となった。
- 南部町緑水園のブースでは、いのしし肉を使った肉まん90個が完売。西部地域におけるジビエ振興の可能性を実感した。
- 会場内では、いのしし汁、おにぎりの無料配布を行い、それぞれアンケートを実施。消費者の意識を把握するとともに、今後の振興方策の参考とした。